

日本共産党品川区議会議員

菊地貞二

週刊区政ニュース第350号

07年12月02日発行

# 区長・・・特別養護老人ホーム建設を表明

## 長期基本計画に位置付ける

濱野区長は11月22日に開催された第四回定例会で、特養増設の意向を明らかにしました。地域住民のみなさんと日本共産党が「都南病院跡地に特養ホームを」と運動を進めた大きな成果です。

### 長計に特養ホーム、障害者のグループホーム増設などを盛りこむことを表明

都南病院跡地は品川区が土地を買い、高齢者施設の設置をが具体化するとして成果を生み出しましたが、残念ながら特養ホームの設置には至りませんでした。しかし、700名をこえる入所希望者がいながら高額な有料老人ホームしか建設しない品川区の行政とは思

えない姿勢に批判が集まり、6500筆の署名が集まりました。応じてくださったみなさんの声が区政を動かしました。



### 特養ホームや区営住宅増設を

私は22日の本会議質問で長期基本計画に特養ホームと区営住宅の増設を求めました。質問の一部を紹介し

ます。



「基本構想策定に先立つて品川区が実施したアンケート調査報告書では、今後、特に力を入れてほしい重点施策として、高齢者福祉が28.8%とトップで高齢者福祉や低所得者福祉の要望が多いという結果でした。

実際に区民の生活を見ると17年度の生活保護率は11.4%、就学援助は28.6%、国保滞納は25.44%と、アンケートに示されたように暮らしは深刻です。それだけに、品川区政に求められていることは、区民の願いに応え、

くらし・福祉を守ることに他なりません。第三回定例会で、濱野区長は「基本構想と長期計画は、区民生活や福祉の向上をめざすものであることは、当然のこと」と答弁しました。しかし、素案の記述には疑問がのこります。

素案は「福祉や防災、

教育などの水準をさらに向上させることを前提」とのべているものの、区民のくらしについて認識の記述はなく、

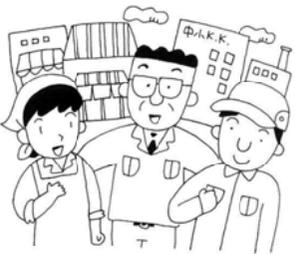
区民要望の強い福祉充実の方向性も目標も盛り込まれていません。

それどころか「福祉のまちをつくることは、

ひとり行政のみの努力で達成できない」として、

本来なら行政の責任でおこなうべき仕事を地域での助け合い、

支えあいに転化し、それを実現すべき都市像



給付比率見直しの必要性まで説いて「健全財政のために行政改革」を強調しています。

これでは福祉はさらに後退、高齢者や低所得者福祉は予算削減の方向です。

基本構想には福祉充実を明記すべきです。

そこで質問しますが基本構想に福祉充実の方向性と目標を明記すること、第4次長期計



画に特養老人ホームや区営住宅など福祉充実の具体的目標を設定することを求めます。」

こうした論戦と区民運動が区政を動かしています。

だと強調しています。さらに、基本構想策

定の基礎資料となる

「基本構想改定の課題」

では、不況・不安定雇

用による所得の低下と

保護世帯による福祉関

連予算の増大、高齢化

による社会保障費の増

大を強調し、高齢者関

係と児童・家族関係の

### 耐震化支援も拡大

今回の議会では、他にも大規模な地震にそなえて耐震化補助を進めようと昨年提案した

耐震化促進補助に関する条例が開いて、耐震改修補助の全区展開、

シェルター設置の補助、啓発活動などの補正予算が組まれました。

道理ある区民の声と運動が区政を動かすことを示す大きな前進です。

## 無料法律相談会 (生活相談は随時)

ところ すずらん通り事務所

日時 12月21日(金)

午後6時～8時



電話予約は03-5467-4211(001)0010まで